

Toyota Business

トヨタ事業

トヨタへのグローバルユニットサプライヤー



トヨタ事業は、トヨタ自動車株式会社からのハイラックス・ダイナなどの受託生産、国内で生産した海外向けのユニット部品供給を主体としてきました。しかしながら、トヨタグループの事業再構築によって、国内では1.5トン、0.75トン積小型トラックの生産を羽村工場に集約する一方で、2005年6月をもって38年間にわたって受託生産してきた、ハイラックス・ピックアップの生産が終了しました。

一方、タイで始まったトヨタ自動車のIMV向けのユニット現地生産が2004年8月にスタートし、さらに、販売好調に伴いタイのトヨタ自動車向けユニットの生産能力の増強も検討しています。また、米国でもトヨタ自動車が増産を狙うピックアップトラック分野の戦略車種「タコマ」向けのユニット現地生産が、2004年10月にスタートしています。さらに今後、急拡大が見込まれるユニット需要に対応するため、2006年中の稼働をめざ

してアーカンソーに新工場を建設中です。そのほか今後のトヨタ事業として、スポーツワゴンの生産拡大や新たなSUVの生産なども予定されています。

このように、日野自動車のトヨタ事業は、フレーム付トヨタブランド車の開発から生産までの一貫受託と、海外現地での生産・供給を行うグローバルユニットサプライヤー事業へと、大きく転換しつつあります。経営面においても、需要変動の激しいトラック生産・販売を補完し、収益を下支えしてきたトヨタ事業が、日野自動車における成長領域としてその重要性を増しているのです。